

《編集・発行》  
神戸市断酒会  
文化部

2024年(令和6年)  
8月1日木曜日

連絡先：  
神戸市須磨区横尾1丁目12-1  
17棟-512号 松岡方  
神戸市断酒会



第23号



神戸市断酒会は、令和六年度通常総会を五月一九日(日)午前九時三〇分から、神戸市兵庫文化センター「第三会議室」で開催しました。上程議案をいずれも原

令和六年度  
神戸市断酒会  
通常総会

案通り承認可決しました。  
この日はまず、司会者の北神戸支部下林浩人さんより、開会の宣言を行われ、総会の成立条件である出席状況(※会員総



数四九名、当日出席者一五名、委任状出席者一九名、計三四名)の報告があり、総会が成立したことが宣せられました。  
村田会長より会長挨拶として、コロナが二類から五類になり断酒会行事、研修会も以前の状態に徐々に戻りつつあります。神戸市断酒会の2024年のテーマである「仲間と歩む回復への道」その中で酒

活動報告を行う松岡事務局長

害から回復するため、行動を見つめて行動を変えて行くことの大切さ、仲間との絆の大切さと語り、神戸市断酒会会員へさらなる飛躍への願いを込めた挨拶をされ、全員がその言葉に真剣に耳を傾けました。  
最後に東海副会長より閉会の挨拶が行われて閉会しました。



会計報告を行う尾崎会計

令和六年度  
神戸市断酒会 本部役員

- 会長 村田 憲彦
- 副会長 清瀬 憲一
- 相談役 東海 信司
- 相談役 迫田 和雄
- 事務局長 松岡 一夫
- 事務局次長 西藤 稔和・泓上 克己
- 和泉 卓也
- 会計 尾崎 基紀
- 会計監査 河本 和之
- 田中 健一

- 文化部
- 和泉 昭徳 清瀬 憲一
  - 尾崎 基紀 和泉 卓也

令和六年度  
神戸市断酒会 家族会役員

- 代表 西藤 佐知子
- 副代表 高坂 照子
- 会計 住本 照子
- 会計監査 村井 世津代



# 神戸市断酒会『虹の会』 第1回一日研修会

六月二三日神戸市兵庫区文化センターにおいて開催されました。  
昨年は、神戸市断酒会「虹の会」発足20周年記念を開催しましたが、今年度

から一日研修会をすることになりました。「虹の会」は「身障酒害者を囲む会」です。その名の通り「囲む」と付く以上は健常者（障害がない人）も参加できる

会です。

参加者の体験談は、障害があるがゆえの断酒の難しさや癌や病気などの闘病で救われた命の尊さを感じるなど、「虹の会」でしか聞くことが出来ない体験談がありました。

虹の会メンバーの私も有意義な時間を過ごさせて頂きました。また第二回目開催を目標に頑張っていきたいと思っております。

参加された皆様、本当にありがとうございました。医療五名、朋友断酒会六四名（兵庫県外三九名、兵庫県内二五名）一般八名、神戸市断酒会二七名、合計九四名の参加がありました。（東海）



## 兵庫県断酒会家族会ならびに 創立30周年記念研修会

五月二六日に第九十一回兵庫県断酒会家族会ならびに創立30周年記念研修会が、「あすてっぷOBE」において開催されました。

参加人数は、朋友断酒会四四名、県内断酒会四八名、一般参加一名、西川氏・上田氏・兵庫県断酒会理事長勝浦氏 計九六名（SS）



今回は兵庫県断酒会家族会の旗を新しくして、三十周年とあって多くの朋友の方に来ていただいて、普段聞けない体験談聞けてうれしく思います。

講演も西川氏のアルコール依存症家族のお話を興味深く聞けて良かったです。



【兵庫県花】/ダジク（野路菊）

## 令和六年度兵庫県依存症に関する 自助グループ等活動支援事業 第四回神戸市断酒会セミナー 『医療現場からの声パートII』

七月一日神戸市中央区文化センター一〇階会議室において第四回神戸市断酒会セミナーが、令和六年度兵庫県依存症に関する自助グループ等活動支援事業助成金を受けて行われました。

はじめに神戸市保健所担当課の方よりアルコール依存症対策啓発の取り組みについての説明がなされました。  
セミナーのテーマとして「医療現場からの声パートII」を掲げ、神戸市を主体



# 神戸開港の歴史

## 網屋吉兵衛と船蓼場

一七八五年（天明五年）、摂津国八郡神戸二ツ茶屋村城下町（現在の神戸市中央区元町四丁目）の呉服商で生まれま

す。 一歳歳の時に荒物商に奉公にでます。奉公するうちに、兵庫津に来る船が、船底に付く貝殻や船虫などをすべて讃岐国

とするアルコール依存症を治療する病院やクリニックで日ごろ患者に接することの多い看護師・精神保健福祉士による所属する各医療機関の紹介をしていただいた後、パネラーとして参加いただきました。パネルディスカッションを行いました。

参加していただきたい行政・医療の方々（神戸市保健所・兵庫県立ひょうごこころの医療センター・公益財団法人復光会垂水病院・宋神経科クリニック・幸地クリニック）参加者行政七人、医療七人、一般五人、朋友断酒会一四人、神戸市断酒会一二人

オンライン参加、行政二二人、医療一人、一般一人、断酒会一四人合計八三人が参加しました。

日ごろ聴けない医療関係者の体験談を、興味深く聞けてアルコール依存症に対する知識を深めることが出来ました。（昭）



多度津の船蓼場（ふなたてば、船底の貝殻や船虫などを焼く場所、乾ドックのこと）にまで整備のために行かなくてはならない事を知りました。

それならばここにあった方が便利だろうという思いで自分の手で作ることを夢見た。奉公する中、数十年にわたり兵庫津近辺で潮の満ち引き、



## 海軍操練所

勝海舟（かつかいしゅう）は、一八六三年（文久三年）、鎖国政策の崩壊により海防の必要性が高まっていた頃、神戸に海軍操練所（かいぐんそうれんじょ）の設立を提案しまし

た。これは海軍兵学校と海軍機関学校を兼ねたもので、日本に欧米と肩を並べる海軍を建設するための足がかりを作ろうとしたのです。

神戸に設立する理由として、神戸沖合が、六甲山が北からの風を遮り、水深が深く、六甲山から流れる旧湊川と旧生田川から流れ出る砂で海底が砂地のため錨がかかり易いと網屋吉兵衛から聞いたためです。

この操練所が神戸に出来て以後、漁村であった神戸は港町としての成長を見せ始めるようになりま

す。それを見越していた勝海舟は、地元で自分の世話をしてくれた者に「今のうちに土地を買っておく方がいい」と助言したところ、見事に地価が高騰し、その者は大きな利益をあげたというエピソードがあります。

操練所の開所期間は非常に短かったものの、その間に坂本龍馬（さかもとりょうま）、陸奥宗光（むつむねみつ）など新しい時代を担う人々を育て、日本の海軍の歴史にも大きな足跡を残しました。

海軍操練所跡は現在の中央区新港町にあり、錨（いかり）の形をした記念碑が建っています。

### 神戸港開港

江戸時代幕府は、長く海外との貿易は、ある特定の外国のみしか交易しない「鎖国」をしてきました。しかしペリーが浦賀に来航して日本は開国を迫られ、「日米修好通商条約」により開港が決定して、函館や横浜、長崎、新潟とともに兵庫は開港場に選ばれて、海外との貿易拠点として開港することになりました。

江戸幕府が開港すると言ったのは「兵庫」です。実際に開港場となったのは、「兵庫」ではなく「神戸」です。今神戸に住む者にとって「兵庫」も「神戸」も同じ神戸市でなので違和感を感じません。

でもその当時兵庫は、「兵庫津」と呼ばれ天然の良港といわれ貿易の拠点でした。既に港町として、

人家が広がっており、公使や貿易商たちの駐在に必要な居留地を建設するための敷地がありませんでした。それに住民に外国人の出入りの「忌避感」があったので

それに対し、旧湊川を挟んで東側にあった神戸は寒村で、大きな船も受け入れられない大水深の港が建設できる海岸が広がりました。

網屋吉兵衛により船舶修理のための船塀（ふなたでば）が建設され、背後地は居留地を建設できるだけの大きな畑地・砂浜があったからです。また住民たちは外国人に対して「忌避感」がなかったのです。

実際に神戸に港が開かれて住民たちは積極的に自ら外国人たちに接していき、新しい文化を受け入れて行くようになりました。（昭）

### ぶらりさんぽ

## JR神戸駅から大倉山公園



神戸駅前のスーパーであんパンと紙パックのコーヒー牛乳を買い求めて、湊川神社の西側の彫刻が並ぶ「緑と彫刻の道」を色々な彫刻を見ながら大倉山公園へ上がって行きます。

この夏の時期、ものすごく日差しが強いので、影を求めて湊川神社の塀にへばりつきながら歩きます。

湊川神社と神戸市立中央体育館の間の東西に走る通りは、神戸市立中央体育館側がレンガを積み上



げているので、どこかヨーロッパの公園の通りみたいです。

目の前に神戸文化ホールの壁面に紫陽花のタイル画が見えてきました。

この紫陽花の絵は、意外に知られていませんが「智恵子抄」でおなじみの高村智恵子作「あじさいと花瓶」が原画となっています。

水とたわむれる子 供 達

神戸文化ホールを左手に見ながら、大倉山公園に入り噴水

の前の背中に彫刻群が広がるベンチに座る。袋からコーヒー牛乳取り出してひと口飲んで、あんパンをかじる。噴水の向こうに神戸大学付属病院が見える。

この大理石の噴水は「水とたわむれる子供達」と題名がついている。

ローマのテルミニ駅近くのレパプリカ広場にあるエセドラ噴水を模して造られたそうです。

何度もこの噴水は来ているのですが、春先に入学したばかりだとわかる制服着た女子高生が、私と同じようにファーストフードを食べながら話し込んでいたりする。

また、秋の日には色づき始めた葉っぱを眺めながら、あんパンをちぎって、寄ってくる鳩に投げながら、夜中この噴水をお風呂代りにはいつて、体を洗ったの体験談を思い出す。

そしてその時どんな気持ちだったのだろうか？と思いを巡らす。

また、ある方が噴水の前を通って神戸大学医学部附属病院にがん治療にむかうときに彼の体験談を思い出し、勇気ももらって病院に向かったと言っていたことも思い出す。

何の変哲もない噴水だけでも、妙に落水だけども、



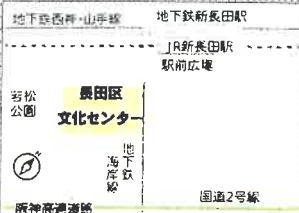
ち着く彫刻に囲まれた噴水前のベンチ。もうあの話は聞けない。（昭）

### 訃報

去る六月二二日兵庫県断酒会事務局次長並びに当会副会長・サブグループシングルの代表を務められた清瀬憲一氏が逝去されました。ここに本氏の功績を称えるとともにご冥福をお祈りして心から哀悼の意を捧げます。

### 神戸市断酒会 故清瀬憲一氏追悼例会 及び総合例会・家族会(合同)

日時：令和6年8月24日(土) 13:30~16:30  
場所：長田区文化センター3階 大会議室



アクセス  
JR/新長田駅  
南側すぐ  
市営地下鉄  
新長田駅